



まっこと博物館を

歩く(3)

先月は、裁判所からふるさと会館にいたるコースを紹介しましたが、今回は八朔祭屋台展示庫からのコースを歩きます。

①八朔祭屋台展示庫

消防署の下にある白い蔵造りの建物、八朔祭屋台展示庫です。ここには江戸時代につくられた八朔祭屋台が保管・展示されています。今年の四月には、新町の屋台が三年間の復元を終えて、帰って来しました。今年の八朔祭には早馬町・下町・新町の三台が曳き出されることになると思います。

②商家資料館

屋台展示庫と国道を挟んだ向かいに、商家資料館があります。この建物は、大正から昭和にかけて絹問屋を営んでいた仁科源太郎氏が、大正十一年に建てたものです。また、市の文化財に指定されており、館内には絹問屋として取引をしていたころの資料や、民具などが中心に展示されています。

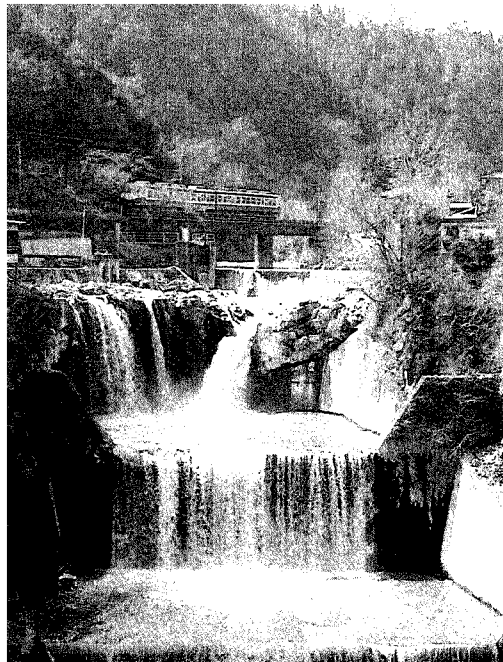
③長安寺

商家資料館の裏手から、長安寺へと進みます。ここはもともと、郡内領主小山田氏の別荘地であったといわれ、その後鳥居氏の時代に寺院として開かれました。現在

の本堂は享保十年に建立されたもので、県の文化財に指定されています。また、寺宝の徳川家康公下賜と伝えられる茶壺は市指定文化財になっています。

④西願寺

文大バイパスの都留トンネルに入る手前があるのがこの西願寺です。もともとは四日市場の瀬中にありましたが、菅野川の度重なる水害のために現在地に移りました。



田原の滝

田原の佐伯橋から見える大きな滝で、田原の滝、白根の滝、白滝とも言われています。松尾芭蕉もこの滝の荘厳さに魅せられ、「勢いあり水消えては滝津魚」という句をここで詠んでいます。

⑦谷村大堰

田原の滝の上流に、桂川の水の取り入れ口があります。これが、郡内領主秋元泰朝によって寛永十三年から約三年の歳月をかけて完成された谷村大堰です。ここから取り入れた水は、家中川となって

⑧田原の滝

田原・谷村・四日市場におよぶ広い範囲を潤しました。

さて、今月まで谷村地区を歩きましたが、来月は宝地区を歩きたいと思っています。

また、現在教育委員会では、市内を歩きながら歩く「ウォーキングマップ」の作成を計画しています。そこで、皆さんの散歩コースを募集して、マップのモデルコースとして活用させていただきます。

ぜひ、ご応募ください。

社会教育課 文化振興係

ネイチャーセンターガイド(4)

緑にかこまれた宝の山の動物たちがさかんに活動し、小さな草花たちが大きな木の下でわずかなこもれ日をうけ、生長しています。各サテライトでオニグルミやアカマツ、コナラの木の赤ちゃんを探してみよう。

1階展示フロア

富士吉田にある富士ビジターセンターからニホンシカ、キツネ、アナグマなど多くのはく製を受け入れました。

2階展示フロア

あたらしい図書が入りました。

自然観察ガイドシリーズ
ネイチャーゲーム(1)~(4)
たのしい鉱物図鑑
森林インストラクター入門
木を植えた男
森の新聞シリーズ(1)~(10)



フィールドでは、ネイチャーセンター近くの石垣にキセキレイが巣をつくり、子育てをしています。卵からかえったのは5月4日でした。親鳥が毎日、ヒナにエサをあたえています。

問合先 ネイチャーセンター

☎(45)6222

